

第4回 「指揮者フルトヴェングラーを考える(2)」

1) フルトヴェングラーの演奏の魅力を探る

再現芸術としての演奏  
再び「作品解釈について」より  
フルトヴェングラーの「トスカニーニ論」と演奏  
フルトヴェングラーの演奏の魅力  
フルトヴェングラーの演奏と日本人の感性

2) 演奏をめぐる幾つかの問題

バロック音楽の場合  
現代音楽の場合

<全曲再生された曲目>  
シューマン「交響曲第4番」 LGM72361-3(VM)

一部画像・音声の不安定な部分がありますが、原テープの不具合につきご了承  
下さる様お願い致します。